

地元の区議会議員情報紙

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住 8-3-3-201 電話&FAX (3807) 4811
自民党機関紙【36】22年8月号毎月水曜日発行



天皇、皇后両陛下南千住下車 つくば研究都市帰り 汐入通過

天皇・皇后両陛下は2日、つくば市の農業・食品産業技術総合研究機構を視察され、南千住から帰路につきました。【この研究所は日本で唯一「口蹄疫」を検査する施設で、感染が広がった宮崎県から送られた検体の検査を対応していました】帰路にあたっては今回も2年前と同様16時38分。つくば線、南千住駅で降りられ、猛暑の中にもかかわらず大勢の区民が日の丸の小旗を振られる中、白バイ数台に先導され、ララテラスから汐入けやき通りを通過し、水神大橋から首都高速に入り皇居へもどられました。一昨年の11月はスペイン国王ご夫妻と共に、夕暮れで小雨の中での通過となりましたが、今回は日差しも明るい中での出迎えとなり、多くの地域の方々も両陛下のお姿を見られたのではないのでしょうか。前回にもお話をさせていただきましたが、VIPの送迎で一番気を使うのは警護の問題です。今回も前回同様のルートが使われた理由の一つには、駅から首都高速までの距離が短く、住宅街なので車の量も少なく、道路も整備されている等の警備のし易さと、景観上も考慮されての選択ではないのでしょうか。今後も地域の方々の努力で、この街の安全が保たれる事を望んでいます。



手を振って応えられる、皇后陛下



地域の歴史を訪ねて【第3回】

隅田川操車場内「捕虜收容所」 終戦から閉鎖までの記録【後半】

前回のあらすじ—太平洋戦争が終盤を迎えた昭和19年。隅田川貨物駅での構内荷役を扱う日本通運の要請で、労働力を、捕虜により確保することを目的として、7月1日、隅田川貨物駅構内に「東京俘虜（捕虜）收容所第十分所」として開設されました。收容者は256人。貨物列車や伝馬船からの荷物の積み下ろしが主な仕事で8月15日迄続きました。



收容所に使用された場所と現在の建物

【捕虜の態度硬化】20年の空襲の頃から、收容者は「日本は負けるぞ！」と、威勢を示すようになり、積み荷から抜き取ってきた大豆や魚の干物を食べたり、現場作業員も寄せ付けない態度を取るなどしてきました。監視員たちは「捕虜は戦況を把握している」と考え、繰り返しの身体検査、宿舍内の捜査を行うが発見出来ません。



【終戦】8月15日、所長が捕虜の将校を通じ、連合国の勝利を伝えます。

【救援物資投下】8月27・28日、30分おきにB-29が收容所付近の物資投下地点の確認に超低空で飛来し（上空300メートル）まもなく衣類・靴・日用品・化粧品・クッキー・チョコレート等の高級品の入ったパラシュート付のドラム缶が何百個ともなく落とされました。**【捕虜引き渡し】**8月30日午後1時頃、3艘の上陸用舟艇が凄まじい爆音をとどろかせながら、掘割へ飛び込んでくると同時に、まもなく252人の捕虜が上陸用舟艇に乗り立ち去って行く事になります。**【報復】**この引き渡しの時に、捕虜数人が宿舍内の憲兵や監視員などを連れ出し、暴行を加え、GHQに引き渡したりしました。**【裁判】**秋には東京裁判が始まり南千住收容所からは所長以下8人が逮捕され、B・C級裁判にかけられ、所長は終身刑、その他は懲役刑となります

「收容所の記録」概要版はファミリーマート内求人ラックで無料配布

汐入図書ステーション増設

今年冬・親子の交流機能施設と併設か

ベルポート汐入商店街の一部店舗閉店に伴い、新しい施設の動きが出てきましたので紹介します。最終確定はしていませんのでこの後、変更になる可能性も残されています。「信頼できる関係者の情報によると」商店街内にあった写真店と薬局店が閉店しました。こ



れに伴い、現在・向い側で開設している荒川区の汐入図書ステーションの増設の検討が始まりました。更に、増設される部分はこの地域の児童数の増加等、実情に合わせ「親子の交流サロンの場」を併設しようと検討しています。

現在の図書ステーション利用者は年間15万人

現在の汐入図書ステーション利用者は年間15万人、1日500人が利用、蔵書は8千冊の規模となっています。他のステーションは年間利用者が5万人位という事ですから、汐入の利用者は



いかに多いのかご理解いただけたらと思います。更にこの地域の実情に合わせた「親子の相談室」が増設されると、子育てや家庭での悩みを持つファミリー層の方々の強い味方にもなるのではないのでしょうか。3・4・8丁目地区を拠点に議会活動をしている私にとって、この街の発展が他の荒川区を必ずリードしていく。との信念でこれからも働いてまいります。